

6 資料

(1) 中間見直しに係る市民意識調査の概要

① 調査目的

- ・「津島市環境基本計画」の中間見直しにあたり、市民の環境に対する意識、環境保全の取組状況等を把握することを目的として、市民意識調査を実施しました。

② 調査対象・期間・方法

- ・調査対象は、住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民2,000人としました。
- ・調査期間 令和2年11月25日（水）から同年12月31日（木）まで
- ・調査方法は、郵送配布・郵送回収としました。

③ 調査項目

■津島市の現在の環境について

- ・現在の環境に対する満足度

■環境保全の取組みについて

- ・環境問題への関心度
- ・SDGs（持続可能な開発目標）の認知度
- ・生物多様性の認知度
- ・現在実行している/今後実行したい環境保全につながる取組み
- ・より積極的に環境保全につながる取組みを行うために必要なこと

■行政による環境保全の取組みについて

- ・行政として重点的に取り組むべき環境分野

■将来の津島市の環境について

- ・20年後の望ましい環境の姿

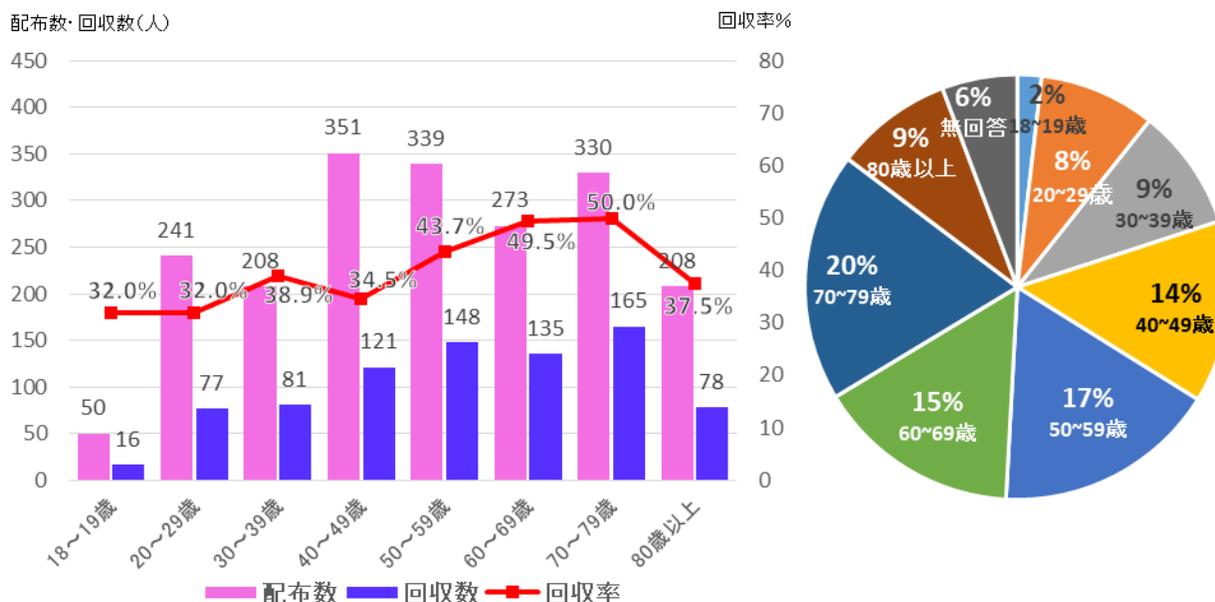
■津島市の環境についての提案

- ・津島市の環境に対する提案

④ 回収結果

表 市民意識調査の回収結果

調査対象者	配布数（通）	回収数（通）	回収率（%）
18歳以上の市民	2,000	871	43.6



(2) 調査結果

津島市の現在の環境について

あなたは、津島市の現在の環境について、どのように感じていますか。あなたの考えに近いものを1つ選んで、番号に○を付けてください。(N=871)

- ・ そう思う（そう思う、ややそう思うを含む）の回答割合が高い項目
 - ①安全な食品を買うことができる 81.5%
 - ②歴史や文化を感じられる行事がある 76.5%
 - ③おいしい水を飲むことができる 65.2%
- ・ そう思わない（そう思わない・あまりそう思わないを含む）の回答割合
 - ①自然度の高い環境が残っている 84.3%
 - ②ごみのポイ捨てや不法投棄がない 66.8%
 - ③地盤沈下や水害が少ない 65.9%

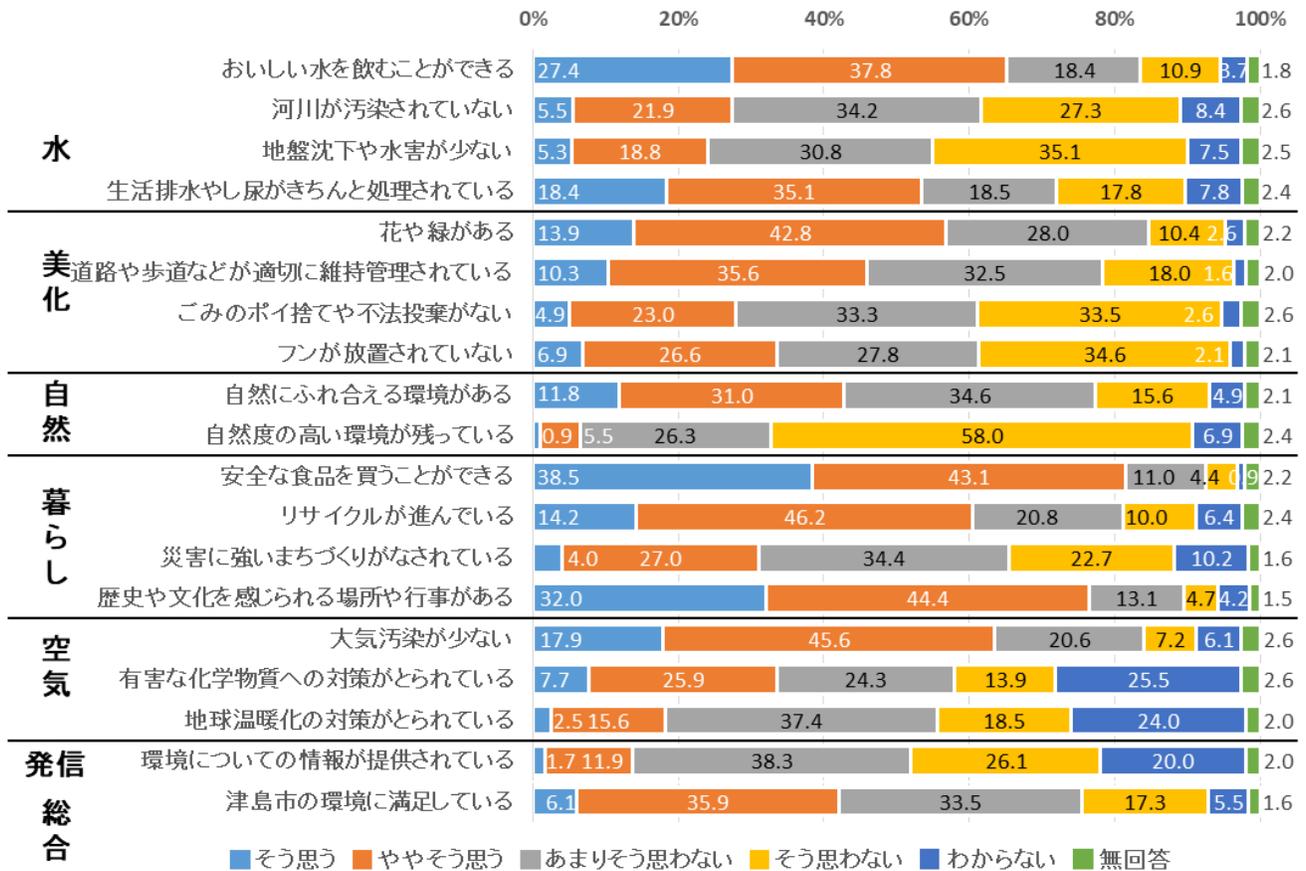


図 津島市の現在の環境の満足度

環境保全の取組みについて

あなたは、環境問題について、どの程度関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○を付けてください。(N=871)

- ・市民の84.0%が環境問題に関心を持っています。
- ・30歳以上では、84%以上が環境問題に関心を持っています。一方で、18～19歳では、関心がある割合が75.0%であり、20～29歳では68.8%でした。

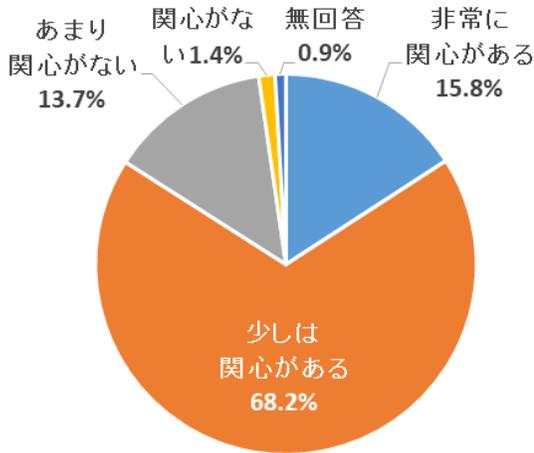


図 環境問題への関心

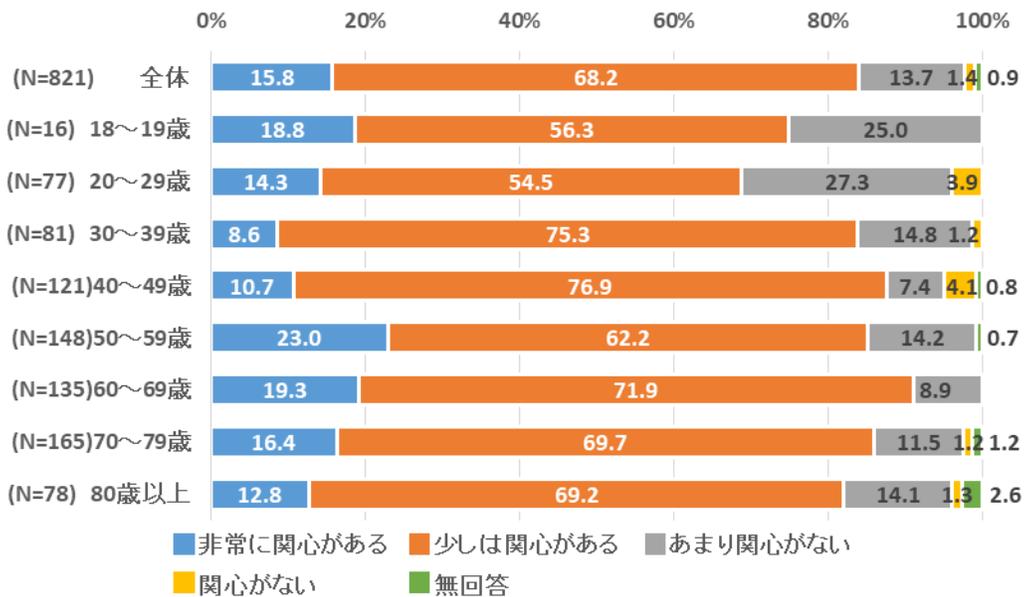


図 「環境問題への関心」と「回答者の年齢」のクロス集計結果

あなたは、SDGs（持続可能な開発目標）という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○を付けてください。（N=871）

- ・市民の16.0%がSDGsについて内容を知っており、36.1%が聞いたことがあると回答している。46.8%はSDGsについて聞いたことがないという結果でした。
- ・「内容についてもある程度知っている」では、18～19歳が50.0%、20～29歳が27.3%であり。また、70～79歳が9.1%、80歳以上が6.4%でした。
- ・「聞いたことがない」と答えた割合は、40～49歳が52.9%で最も高くなりました。

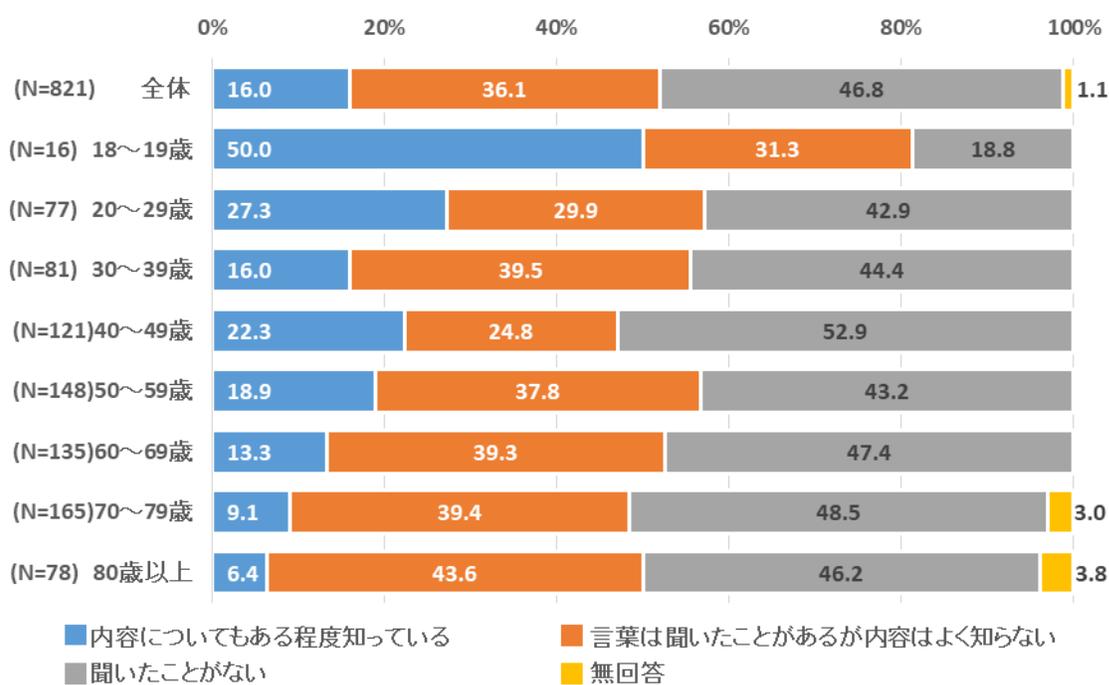


図 SDGs について知っている割合

あなたは、生物多様性という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○を付けてください。 (N=871)

- 市民の21.6%が生物多様性について内容を知っており、59.8%が聞いたことがあると回答しています。16.8%は生物多様性について聞いたことがないという結果でとなりました。
- 「内容についてもある程度知っている」では、18～19歳が37.5%、20～29歳が32.5%であり。また、60～69歳が17.0%、80歳以上が12.8%でした。
- 「聞いたことがない」と答えた割合は、80歳以上が26.9%で最も高く、次いで40～49歳が26.4%でした。

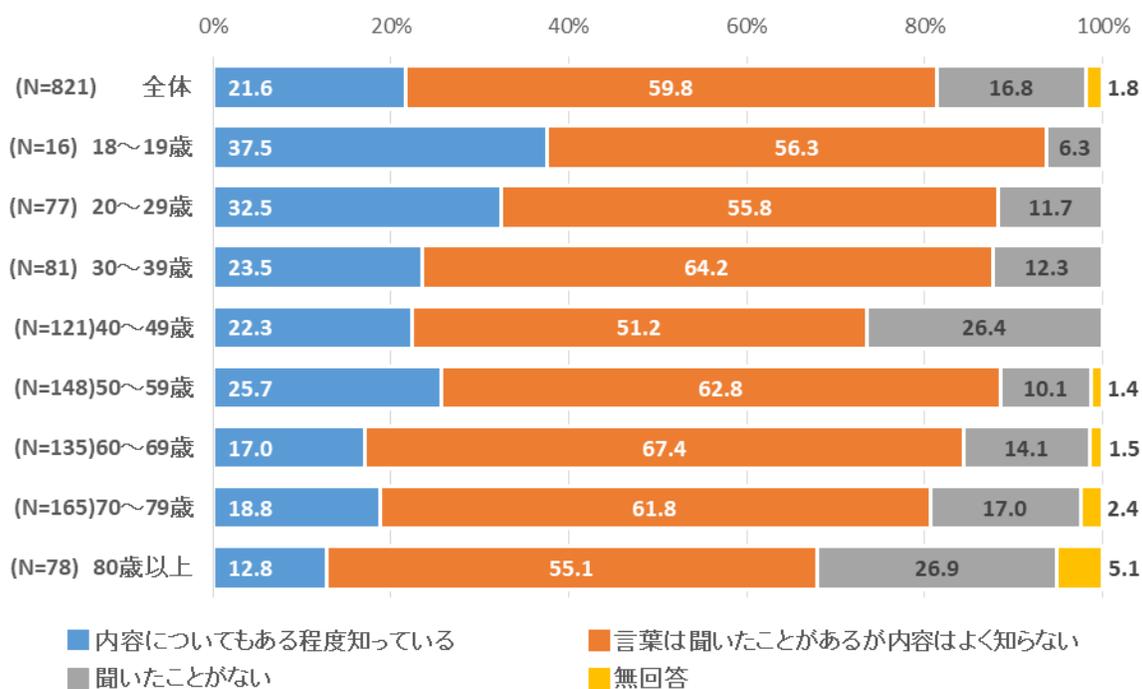


図 生物多様性について知っている割合

あなたは、環境の保全につながる取組みを実行していますか、または今後実行していきますか。それぞれ該当するものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

(N=871)

・現在実行しているという回答の割合が高い項目

- ①油などを排水口に直接流さないこと 88.7%
- ②ごみのポイ捨てなどをしないこと 87.5%
- ③生活騒音などを配慮すること 78.1%

・実行していないが今後したいという回答の割合が高い項目

- ①環境学習の機会を利用すること 48.1% (現在実行している割合4.9%)
- ②環境について会話をすること 48.0% (現在実行している割合23.3%)
- ③省エネ家電などを優先的に購入すること 44.8% (現在実行している割合37.0%)

・実行する予定はないという回答の割合が高い項目

- ①環境学習の機会を利用すること 43.2%
- ②自然にふれ合うこと 39.8%
- ③再生可能エネルギーを利用すること 38.0%

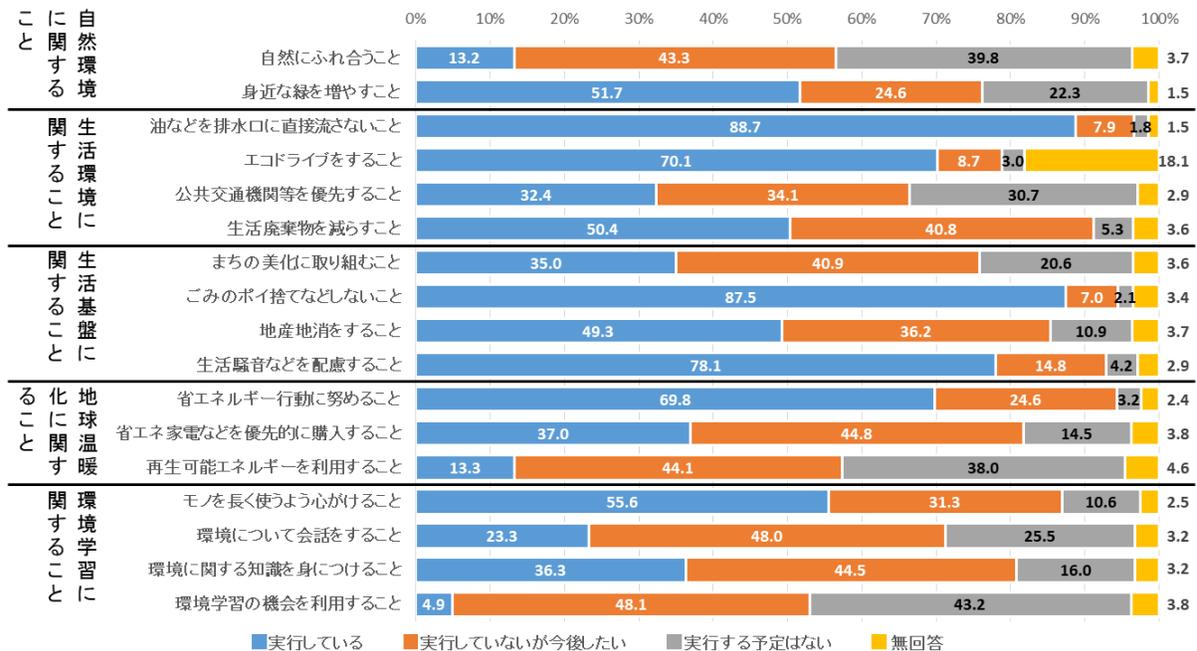


図 環境保全につながる取組み

あなたは、環境保全につながる取組みに、より積極的に取り組んでいくため、どのようなことが必要だと考えますか。あてはまるものを3つまで選んで、番号に○を付けてください。
(N=871)

- ・「取組みの効果が目に見えること」と「楽しみながら取り組むことができること」が特に必要であると考えられています。
- ・「取組みの社会的意義や責任を感じられること」、「取組みの励みとなるものがあること」はあまり必要と考えられていません。

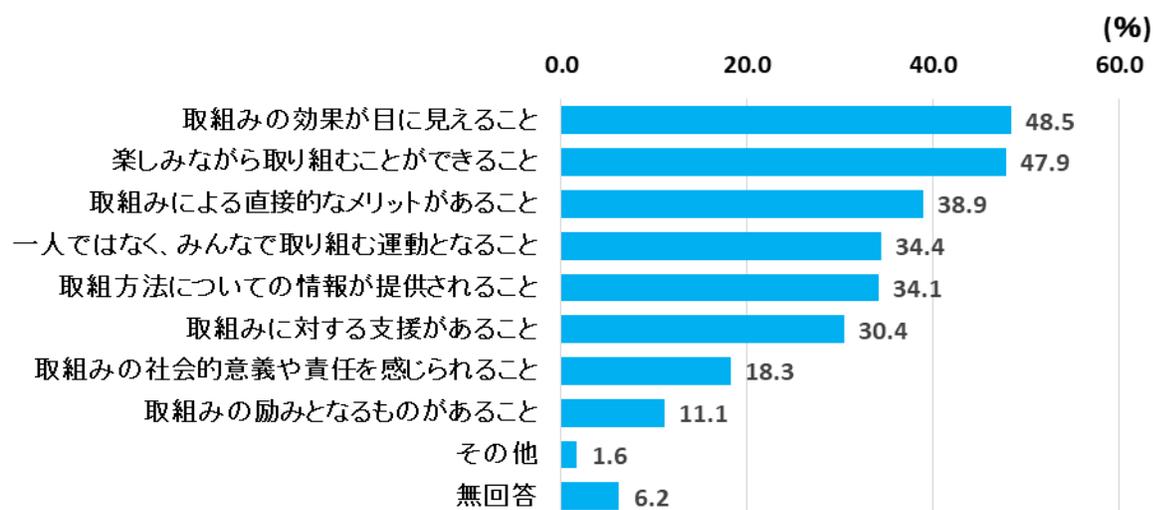


図 環境保全の取組に積極的に取り組むために必要と思われること

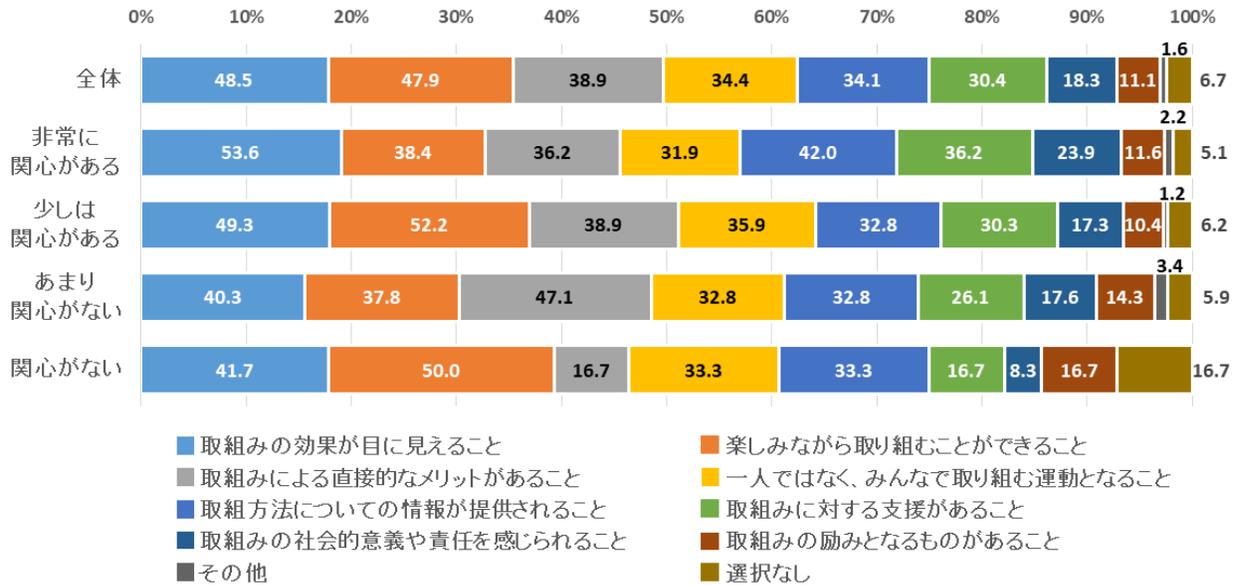


図 環境保全の取組に必要と思われること（環境への関心度別）

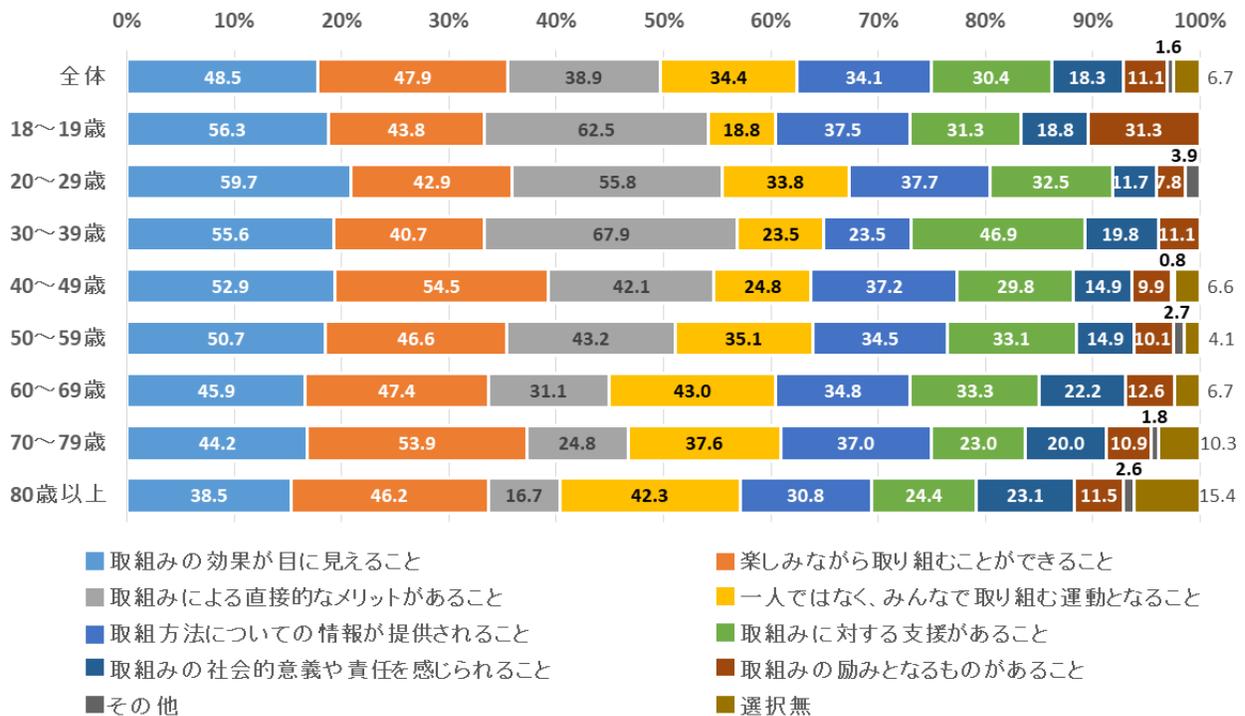


図 環境保全の取組に必要と思われること（回答者の年齢別）

行政による環境保全の取組みについて

あなたは、これからの津島市の環境のために、行政として、どのような分野について重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。次の各項目について、あなたの考え方に近いものを1つ選んで、番号に○を付けてください。(N=871)

- ・生活環境に関すること（水環境の保全、リサイクル・廃棄物）に重点的に取り組んでいくべきという意見が多くあります。
- ・環境学習に関することについては、わからないとの回答が3割弱を占めています。

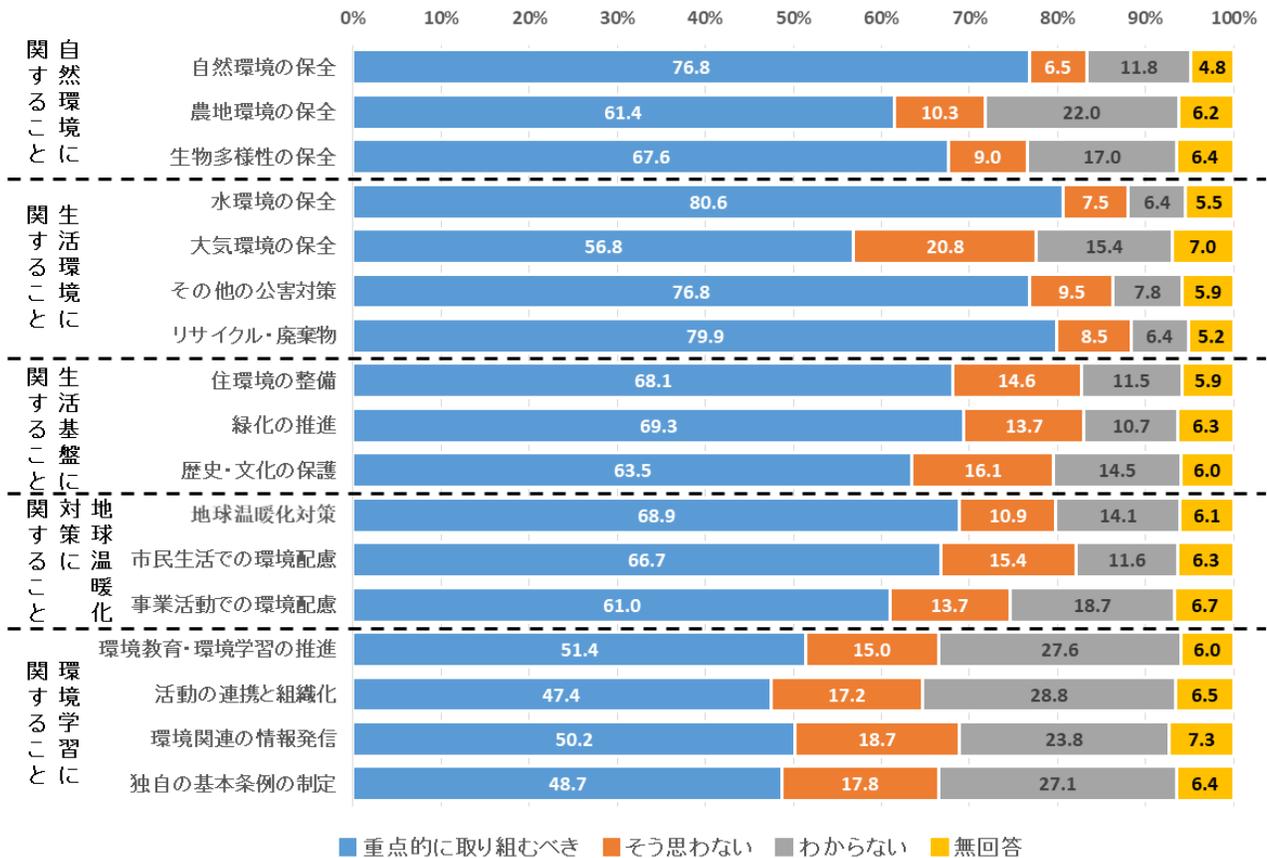


図 行政が重点的に取り組むべき分野

将来の津島市の環境について

あなたが考える20年後の津島市において、こうあって欲しいと望む環境の姿として、あてはまるものを3つまで選んで、番号に○を付けてください。(N=871)

- ・「防災・減災の取組みが進んで災害に強い」については、18～20歳を除く年齢層で高い割合を示しています。「歴史や伝統文化が息づいている」についても30～39歳、50～59歳を除く年齢層で高い割合を示しています。
- ・水環境・大気環境が良好であることも多くの市民が望んでいます。

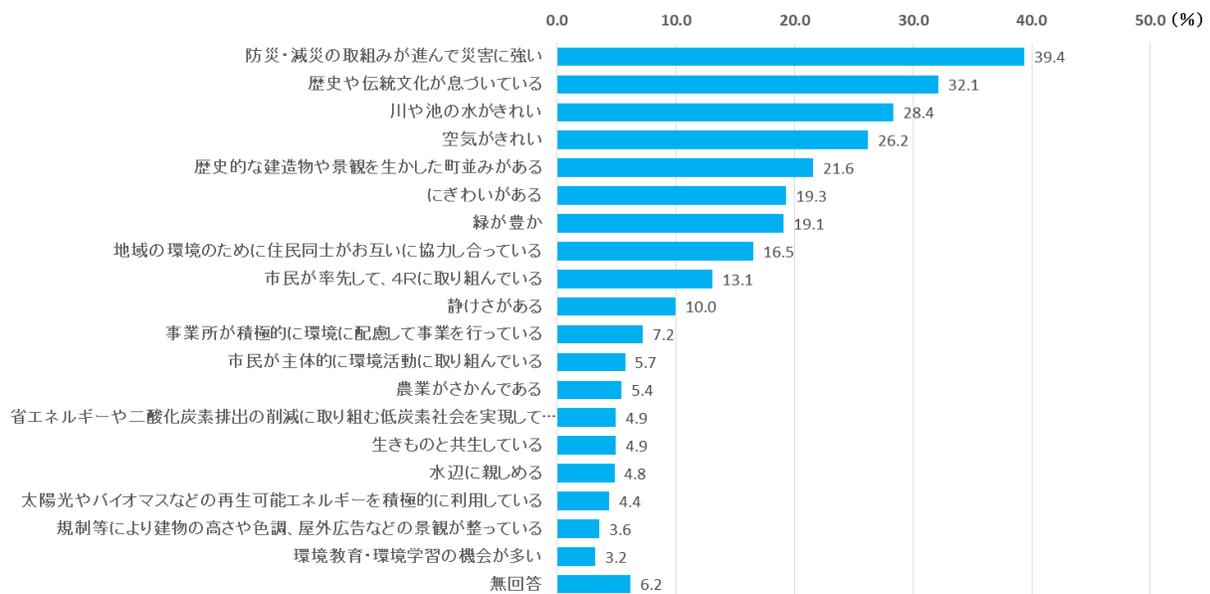


図 20年後の津島市の望ましい環境の姿

表 「回答者の年齢」のクロス集計結果（各年齢層の上位3項目）

年齢	1	2	3
全体	防災・減災の取組が進んで災害に強い (39.4%)	歴史や伝統文化が息づいている (32.1%)	川や池の水がきれい (28.4%)
18～20歳	歴史や伝統文化が息づいている (50%)	川や池の水がきれい (43.8%)	空気がきれい (31.3%) にぎわいがある (31.3%)
20～29歳	防災・減災の取組が進んで災害に強い (46.8%)	川や池の水がきれい (32.5%) 歴史や伝統文化が息づいている (32.5%)	
30～39歳	防災・減災の取組が進んで災害に強い (45.7%)	空気がきれい (28.4%) にぎわいがある (28.4%)	
40～49歳	防災・減災の取組が進んで災害に強い (41.3%)	川や池の水がきれい (37.2%)	歴史や伝統文化が息づいている (32.2%)
50～59歳	防災・減災の取組が進んで災害に強い (38.5%)	川や池の水がきれい (30.4%)	にぎわいがある (28.4%)
60～69歳	防災・減災の取組が進んで災害に強い (46.7%)	歴史や伝統文化が息づいている (36.3%)	川や池の水がきれい (25.9%)
70～79歳	歴史や伝統文化が息づいている (38.2%)	防災・減災の取組が進んで災害に強い (32.7%)	空気がきれい (32.1%)
80歳以上	歴史や伝統文化が息づいている (35.9%)	空気がきれい (32.1%) 防災・減災の取組が進んで災害に強い (32.1%)	

表 「回答者の居住地区」のクロス集計結果（各居住地区の上位3項目）

小学校区	1	2	3
全体	防災・減災の取組が進んで災害に強い (39.4%)	歴史や伝統文化が息づいている (32.1%)	川や池の水がきれい (28.4%)
東小	防災・減災の取組が進んで災害に強い (39.7%)	歴史や伝統文化が息づいている (38.0%)	歴史的な建造物や景観を生かした町並みがある (26.4%)
西小	歴史や伝統文化が息づいている (40.5%)	防災・減災の取組が進んで災害に強い (29.7%)	川や池の水がきれい (29.1%)
南小	歴史や伝統文化が息づいている (36.1%) 防災・減災の取組が進んで災害に強い (36.1%)		川や池の水がきれい (29.1%) 歴史的な建造物や景観を生かした町並みがある (29.1%)
北小	空気がきれい (34.4%) 歴史や伝統文化が息づいている (34.4%)		防災・減災の取組が進んで災害に強い (32.8%)
神守小	防災・減災の取組が進んで災害に強い (47.6%)	空気がきれい (29.0%) 歴史や伝統文化が息づいている (29.0%)	
蛭間小	防災・減災の取組が進んで災害に強い (47.4%)	歴史や伝統文化が息づいている (32.9%)	空気がきれい (25.0%)
高台寺小	防災・減災の取組が進んで災害に強い (42.3%)	緑が豊か (28.8%)	川や池の水がきれい (32.1%) 歴史や伝統文化が息づいている (32.1%)
神島田小	川や池の水がきれい (44.7%)	防災・減災の取組が進んで災害に強い (42.6%)	空気がきれい (30.9%)

津島市の環境に対する提案

津島市の環境について、ご提案がありましたら、自由に書いてください。（N=871）

■主な回答（括弧内は回答件数）

- 道路や歩道の整備、交通環境の改善（63）
- 公園、緑地の整備（32）
- 水環境や水質の改善（23）
- ごみの分別、リサイクル、美化、4Rを進める（23）
- まちの活性化、良い雰囲気づくり（16）
- 災害対策、防災・減災の取組（12）
- 環境情報の活用、普及（9）
- 犬、猫の適正飼育（9）
- 企業の誘致（6）
- 再生可能エネルギーの活用、省エネルギーなど（5）
- 農地、農業の維持活用（3）
- その他（41）

環境基本計画体系図

津島市環境基本計画では、基本理念に基づく計画の基本目標として、基本目標1から基本目標4の目指すべきまちの姿を設定するとともに、基本目標5として、これらを実現するための総合的な施策の推進のあり方を設定しています。

基本目標1 人と生きものが共生するまち

基本方針

- (1) 身近な水と緑の保全
- (2) 身近な水と緑の創出
- (3) 生物多様性の保全

施策方針

- 1) 水辺環境を保全・再生します
 - 2) 農地環境を保全・活用します
 - 3) 社寺林等を保全します
- 1) まちなかの緑化を推進します
 - 2) 身近に水や緑とふれあう機会の充実を図ります
- 1) 多様な生きものが生息・生育できる環境を保全します
 - 2) 水と緑をつなぐネットワークを形成します

目標指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
まちなか(市街化区域)の緑地の割合	9%	9%以上
自然にふれあうことに取り組んでいる市民の割合	13.2%	50.0%
生物多様性について知っている市民の割合	21.6%	40.0%

生物多様性つしま戦略の取組として位置づけ

基本目標2 モノを大切に作る心が根付いたまち

基本方針

- (1) 3Rの推進
- (2) 適正なごみ処理体制の構築

施策方針

- 1) 廃棄物の発生抑制を推進します
 - 2) 廃棄物の再生利用を推進します
- 1) 廃棄物の適正な処理を推進します
 - 2) 不法投棄・不適正処理対策を推進します

目標指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
一人一日当たりのごみ排出量	743g/人・日 (令和元年度)	730g/人・日
リサイクル率	14.0% (令和元年度)	23.0%
モノを長く使うように心がけている市民の割合	55.6%	82.0%

基本目標3 エネルギーを賢く大切に使うまち

基本方針

(1) 省エネルギー行動の推進

(2) 再生可能エネルギーの利用促進

施策方針

- 1) 省エネルギー行動を推進します
- 2) 環境に配慮した交通利用を促進します
- 3) 地域の地球温暖化対策を推進します

- 1) 家庭・事業所での再生可能エネルギーの利用を促進します
- 2) 地域での再生可能エネルギーの利用を促進します

目標指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
再生可能エネルギーを利用している市民の割合	13.3%	50.0%
エコドライブをしている市民の割合	70.1%	80.0%
節電・節水をしている市民の割合	69.8%	80.0%

津島市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の取組として位置づけ

基本目標4 津島らしさを感じられるまち

基本方針

(1) 地域の防災・減災対策の推進

(2) 魅力ある生活環境の創造

(3) 歴史・文化の継承と活用

施策方針

- 1) 地域の減災体制の実効力を高めます
- 2) 防災施設等の整備を推進します

- 1) 公園・緑地の整備を推進します
- 2) 公害対策を推進します
- 3) 快適な住環境を確保します

- 1) 良好な景観を保全・形成します
- 2) 文化財の保護を推進します
- 3) 郷土の歴史・文化を継承します

目標指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
災害等の心配が少ないと思う市民の割合	31.0%	40%
まちの美化に取り組んでいる市民の割合	35.0%	67.0%
歴史を感じられると思う市民の割合	76.5%	80%

基本目標5 持続可能で快適なまちの実現に向けて

基本方針

(1) 環境教育・環境学習の推進

(2) 協働による環境保全活動の推進

施策方針

- 1) 環境教育・環境学習の充実を図ります
- 2) 連携・協働機能の充実を図ります

- 1) 環境に関する情報を収集・発信します
- 2) 環境保全活動の推進を図ります